

3学期が始まりあっという間に1月が過ぎてしまいました。何ともう2月。「1月一時、2月逃げ月、3月さらさら。」と言われますが、29日間とただでさえ短い月。しかし、5日（水）には、県立高校推薦入試があり、校内では入園説明会、進級説明会など次年度の準備も始まり、慌ただしい月となります。

見通しを立てて、計画的に過ごし本当に逃げられてしまわないようがんばります。では、「きらら」2月号をお届けいたします。

先進校視察～出水市立鶴荘学園（義務教育学校）

1月30日（木）に日高教頭（中学部）、安井教諭（小学部教務主任）、荒田主幹（美郷町教育委員会）の4人で鹿児島県出水市にある鶴荘学園に研修視察に行ってきました。鶴荘学園は、小学部と中学部を合わせて77名（本校は79名）、また、幼稚園も併設しており本校と非常に環境が似た学校です。違うのは、義務教育学校であること、3、4年と5、6年が複式学級であることです。今回の研修視察では、鶴荘学園 床並伸治校長先生が丁寧に説明をしてくださいました。義務教育学校のよさとして以下の点を挙げられました。

- ① 小・中の学校組織・教育活動の一体化
- ② 一人の校長がリーダーシップを発揮
- ③ 児童生徒を、小・中の教員が一体的に教育
- ④ 教職員定数上、教諭が一人増
- ⑤ 小学校・中学校の兼務発令等が不要
- ⑥ 教科の新設など、文科省への申請等が不要
- ⑦ 相互乗り入れによる教員の指導力向上
- ⑧ 一体化による事務量の軽減
- ⑨ PTA・学校運営協議会の一体化
- ⑩ 中1ギャップの解消



②④については、小中一貫校である本校にも当てはまります。①③についてはある程度本校でも行われていますが、更にここでは関わりが深くなっていました。文科省や教育委員会へ申請が必要

だった様々な手続きが減少するのもメリットと言えます。

また、授業風景も観察させていただきましたが、小学部の先生も中学部の先生も非常に授業が丁寧で分かりやすく、板書が構造的にまとめられていました。校長先生に尋ねたところ、「最初からこうではなかった。小学部と中学部と一緒に研修する中で、お互いのいいところを吸収していった結果だ。」と話されていました。

今回の視察で私が一番興味をもったのが複式学級の指導の工夫です。本来、一人の担任が2学年を1単位時間の中でいっしょに指導するのですが、ここでは、担任が一方の学年を指導している間、他方の学年を中学部の先生が指導することにより、複式学級でありながら学年単独の授業が可能となっていました。本校も令和2年度より複式学級が一つできます。非常に参考になりました。



大爆走～宇納間地蔵駅伝大会

2月2日（日）、恒例の宇納間地蔵駅伝大会が、すまいる広場を発着点に開催されました。北郷だけでなく美郷町内からたくさんのチームが参加していましたが、北学園からもスポーツ少年団や部活動チームの他、教職員チームも出走しました。暖冬と言われた今シーズンには珍しく霜で一面真っ白な朝となりましたが、風はなく、また雲一つない絶好の駅伝日和となりました。

このような地域の行事に積極的に参加し、北郷の「人・もの・こと」のよさを大いに体験し、北郷に生まれ育ったことの喜びや誇りを感じ取ってほしい、そんな思いで応援していました。保護者や地域の皆様、子どもたちや職員へのたくさんの応援ありがとうございました。



行事予定 3月

- 4日（水）県立高校一般入試～5日
- 5日（木）PTA運営委員会
- 6日（金）送別遠足
- 13日（金）卒業式予行（1～9年）
卒業式前日準備（5～8年）
- 16日（月）美郷北学園卒業式（1～9年）
- 19日（木）卒園式予行（幼～4年）

- 23日（月）卒園式前日準備（3・4年）
- 24日（火）北郷幼稚園卒園式（幼～4年）
- 26日（木）修了の日（小学課程修了式）



ホームページをご覧ください

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/1665/htdocs>

または、美郷町立美郷北学園で検索



成功できる人っていうのは、「思い通りに行かない事が起きるのはあたりまえ」という前提を持って挑戦している。

トーマス・エジソン